

のう　　じ　　でん　　そう

農時電送

共通・号外No. 1

JA今金町、JAきたひやま・JA新はこだて若松基幹支店

檜山農業改良普及センター 檜山北部支所 TEL84-5514

過湿への対応は万全に!

7月7～8日にかけての降雨により、ほ場内への浸水が認められます。排水対策を行い、湿害軽減に努めましょう。

また、過湿条件で気温が高くなると、作物の病気が発生しやすくなります。被害が大きくならないよう、早めの予防防除に努めましょう。

●ほ場の排水対策、湿害対策

- ・ほ場内に滞水が見られる場合は溝切りなどを行い、排水に努めましょう。

●作物の病害防除

- ・豆類は、滞水・冠水により茎疫病・細菌病の発生が高まります。早急に排水対策を行い、薬剤防除を行いましょう。

大豆・小豆の主な防除薬剤

対象病虫害	薬剤名	倍率	使用時期	回数	効果の発現
斑点細菌病	ドイツボルドーDF	500	-	-	予防
茎疫病 斑点細菌病(大豆) 茎腐細菌病(小豆)	フェスティバルC水和剤	600	収穫7日前	3	予防・治療

- ・馬鈴しょ、てんさいは、ローテーション防除で対応してください。

*馬鈴しょで滞水したほ場は、軟腐病防除を早めに行いましょう。

- ・ブロッコリーの花蕾腐敗病や軟腐病、アスパラガスの灰色かび病、かぼちゃの「ガンベ」症は過湿条件で出やすくなりますので注意が必要です。また、うり類のうどんこ病、疫病にも注意しましょう。